

### 日本畜産物輸出促進協議会が香港の展示会に出展、日本産畜産物PR



一般社団法人日本畜産物輸出促進協会は15～17日にかけて、香港コンベンション&エキシビジョンセンターで開催された、アジア最大級の食の見本市「Food Expo PRO 2024」(主催＝香港貿易發展局)に出展。世界各国から訪れた食肉流通業者や外食・小売業者らに対して、日本産畜産物に対する認知度向上と輸出拡大を図るため、オールジャパンで出展し、日本産の畜産物(牛肉、豚肉、鶏肉、鶏卵、牛乳乳製品、食肉加工品)の特長や品質情報の提供と試食会などを実施した。食肉加工品を含めた6部門の全輸出協議会が一同に会するのは初めて。

会場ではステージでのセミナーや実演、ブースでの展示を通して、日本産畜産物を紹介。さらに調理実演や試食を提供。初日には、川島俊郎専務理事が日本産畜産物の優位性や特長を紹介し、さらに各協議会の特色や品質情報を説明した。特に牛肉輸出協議会のブースでは、100kgを超える多様な和牛の部位を用意。常時試食が行われ、多くの来場者を集めていた。

2日目には坂本哲志農相が会場を訪れ(写真)、目の前で焼き上げた、A5ランクの和牛サーロインステーキを試食。牛肉輸出協議会の植村光一郎理事が和牛のマーブリングスタンダード、肉の色沢、脂肪の質や肉質のキメなどについて説明した。坂本農相は「日本が誇る和牛は日本産農林水産物の先導役として掲げられており、輸出目標達成に向けて尽力していただきたい」と激励の言葉を贈った。さらに坂本農相はチュック・ウインヒン香港特別行政区行政長官と会談。日本産農林水産物・食品の輸出拡大に向けた取り組みを紹介したほか、会場ではトップセールスを行い、日本産畜産物をPRした。